京城日報 朝刊

一部 金四錢 一箇月 … 郵稅一箇月 … 外國送り郵稅共 一箇月 金四圓 … 廣告掲載料 五號十五字詰 一行金一圓五十錢 場所指定料 (一行毎ニ) 金二十錢以上增

發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社 電話 (本局) 二三… 二四… 一八二〇〇 一一五番

擧國總進軍議會 けふ召集

必勝必成の國策堂々闡明

【東京電話】大東亞戰爭完遂のための擧國政治力結集を目標として行はれた第二十一回衆議院議員總選擧後最初の第八十臨時議會は赫々たる戰果に呼應して燃え上る全國民の政治的意欲を背景としていよいよ廿五日召集される

政府が今次臨時議會の召集を奏請した理由は東亞共榮圏確立に不可缺の要請たる〇〇〇〇〇〇に關する法律案二件およびこれに伴ふ豫算案三件の協贊を求めるとともに國策遂行に關する所信を中外に闡明し併せて議會を通じて國民の理解と協力を求め大東亞戰爭の必勝と共榮圏建設の必成を期する擧國總進軍體制をいよいよ強固ならしめんとするにあるが、これを迎へる貴衆兩院は去る廿日創立發足した擧國翼贊政治力の結集たる翼贊政治會に融合して今議會を期し、わが獨自の翼贊議會を打ち樹てんとしてゐる、すなはち阿部信行大將を總裁とする翼贊政治會にほとんど全員をあげて入會した衆議院は從來の各派交渉會に代る議員協議會を設置して議事の圓滑運行をはからんとしてをり、貴族院は研究會を中心たる在來の會派は存續するが、その間に連絡委員會を設置して各會全員一致協贊の本分を發揮さんとしてゐる、かくて廿五日は貴族院は各派協議會を開き議事運營を協議して翌日成立を告げ衆議院は正副議長選擧を行つて廿六日成立、廿七日には午前十一時開院式を擧行する豫定である

しかして貴衆兩院とも會期の關係上同日午後ただちに本會議を開き貴族院は午後二時、衆議院は同四時開會、東條首相、東郷外相、賀屋藏相より各施政方針演説を行ひこれに引續き陸海兩相より主として第七十九通常議會以後におけるバタアン半島、コレヒドール島の陥落、ビルマ蘭印の攻略ならびに印度洋および珊瑚海海戰における赫々たる戰果とこれに伴ふ建設の進展状況につき戰況報告を行ふはずであるが、これに對しては貴衆兩院とも國民感謝の誠を表明する感謝決議を行ふことになつてゐる

さらに衆議院は同日中に政府提出案を上程、提案理由説明ののち委員附託とし廿八日午前中に議了、貴族院も同日中協贊を終つてわが國政治史に新紀元を劃する第八十臨時議會の閉會式は廿九日午前十一時貴族院において擧行される豫定であるが輝しき戰果に呼應して翼贊議會の大道に邁進し米英撃滅、大東亞共榮圏確立必成の體制をいよいよ強固ならしめる今次臨時議會の有する意義は誠に重大だといふべきである

兩院の豫定

…前九時全議員本…成立手續の會議…長より部屬は前…議員の部屬を決定して成立を告…議會通り繼續する旨を宣告、審…げとの旨衆議院ならびに政府に通告することゝして散會

▲衆議院 午前九時全議員本會議場に參集、同十時大木書記官長議長席に着き直ちに正副議長候補者の選擧を執行その結果當選した正副議長各三名づゝの候補者を内閣を經て上奏、勅許の手續を經る旨を宣して散會

衆院正副議長

岡田、内ケ崎氏に決定

【東京電話】第八十臨時議會は二十五日召集され衆議院は同日議長ならびに副議長候補者を選擧し内閣を經由して上奏御裁可の手續をとることになつてゐるが、翼贊政治會は去る二十二日の代議士會において正副議長候補者の銓衡は阿部總裁の指名に一任することに決定したので、阿部總裁は同日午前八時五十分より院内において開かれる常任總務會ならびに同九時から開かれる院内役員會に諮つたうへ同九時半代議士會を開催し議院法の規定に基づき正副議長候補者各三名を指名するが、議長第一候補者には元副議長常任總務岡田忠彦氏、副議長第一候補者には現副議長内ケ崎作三郎氏が推されることとなつた

△岡田氏略歴 岡山市出身で本年六十五歳、東京帝大卒業後靜岡、大分、奈良各縣事務官、山口、熊本縣警察部長、長崎縣、東京府内務部長、埼玉、長野、熊本各縣知事を經て大正十二年警保局長を勤め退官、後衆議院議員に當選すること七回、この間昭和十一年五月富田議長のもとで副議長に就任した、また政友會の分裂後久原派の幹事長として政黨解消の先驅的役割を務めた

△内ケ崎氏略歴 宮城縣出身本年六十六歳、東京帝大、オックスフォードおよびマンチェスタカレツヂ卒業後早大教授として育英に從事現在に及んでゐる、第十五回總選擧以後當選七回、この間に内務參與官、文部政務次官に就任、昨年十二月衆議院副議長に勅任された【寫眞=上は岡田氏 下は内ケ崎氏】

委員長・人物本位

【東京電話】翼贊政治會は議會運營刷新の第一歩として翼贊委員會をはじめ各常任委員會の運營に新機軸を加へるとともに委員の銓衡も適材適所主義で適當の才士を配し新人をも起用して新鮮味を盛ることとし、特に廿四日午後大東亞會館に委員の小委員會を開催、委員會の運營各委員會の委員數割當などにつき協議を遂げた結果、勅語奉答文起草委員ならびに各常任委員會の委員數を左の如く決定した

一、勅語奉答文起草委員十八名
一、豫算委員六十三名
一、請願、決算、各委員各四十五名
一、懲罰、建議各委員各二十七名

しかしてこれら委員長の人選も舊來の慣習、地域關係などを排し人物本位に銓衡する方針に決したがまづ豫算委員長は同委員會の政治的重要性に鑑み大物をあてることになり大口喜六氏が内定してゐる、また懲罰委員會はその使命が議員の身分に關するものであるため議會の權威保持のため前から委員の銓衡に特に愼重を期し委員長には經驗級の人物を當てる方針で、潮惠之輔氏が有力である、また決算、建議、請願の三委員長は新人議員中から起用する方針であり、全院委員長には昨年の如く四王天中將が内定してゐる

前田總務、座長推薦

【東京電話】翼贊政治會の院内役員會は議會々期中常任總務前田米藏氏を座長とすることゝなつた

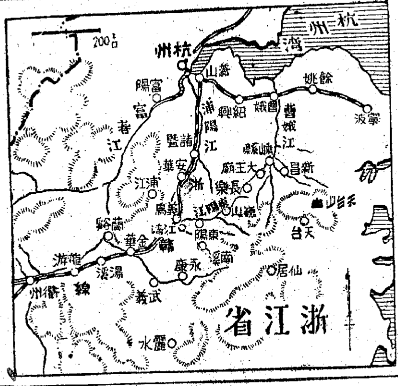
炎上する三界鎭をあとに進撃の我精鋭（陸軍省檢閲濟 浙東戰線報道班員撮影）＝一電送

敵最後要衝陷落近し

浙東地區 南北呼應猛進

【浙江〇〇前線廿四日同盟】東陽江南岸を猛攻中のわが東北部隊は廿四日午前中部支那の敵最重要據點の一たる金華市の東南十數キロに肉薄、いまや同市突入寸前の態勢にある、敵將顧祝同はすでに金華防衞を斷念せるものの如く附近航空部隊の偵察によれば同市は敗走の敵八十八軍と増援部隊とが入り亂れて大混亂を呈し、同市南方の大飛行場をはじめ鐵道および重要施設は爆破されて濛々たる黒煙が天に沖し凄慘な斷末魔の形相を呈してゐる

【浙江省〇〇二十四日同盟】東陽河谷よりひた押しに敗敵を追つて西南方へ進撃中のわが軍は二十三日夕刻來東部支那の敵重要據點〇〇および〇〇を指呼の間に望み東陽江兩岸を怒濤の如く急進撃、浙東の戰局は今や大詰めに近づきつつある、すなはち東陽江南岸地區の掃蕩部隊は東陽占領後數日來の霖雨に泥濘と化した惡路を突破、數縱隊となつて猛追撃を續け二十三日夕刻には早くも要衝〇〇東南方〇十數キロの地點に進出、一方義烏を拔いて西進中の北岸進撃部隊は突如鋒先を轉じて〇〇に肉薄、ここに敵が〇〇〇〇防衞の前衞陣地と恃む孝順（義烏西南三十キロ）南北の防衞線は完全に崩壞し敵が難攻不落を豪語した〇〇および〇〇の攻略態勢は刻々完成しつゝある



敵空軍蠢動を覆滅

わが中支敵基地連爆

中支〇〇基地特電【廿四日發】中支那派遣軍航空部隊は今月中旬以後今次浙東作戰に協力し地上部隊と密接なる連繫の下に浙江省、湖南省、廣西省等の飛行場を反復攻撃これを爆碎廿、廿一の兩日の大爆撃は麗水、衢州、桂林の飛行場を全く使用不可能に陷らしめた

ボーキサイト、錫等 採掘復興進捗

マレーの鑛山開發 關口鑛務課長談

【昭南市二十三日同盟】マレー軍政部では皇軍占領後直ちにマレー半島の資源開發復舊工作に着手、爾來關係部が努力を續けた結果、最近では各資源開發復舊工作も急速な進捗を示し、特に戰爭遂行上もつとも重要なボーキサイト、錫、鐵鑛など諸鑛業の開發は急速調をもつて進めてゐるが、最近の鑛業（鑛産）開發狀況について二十三日軍政部鑛務課長關口一元氏は左の如く語つた

▲ボーキサイト ボーキサイトはマレーおよびビンタン島においてわが國の必要量の全部をまかなふ方針でやつてゐる、すなはちマレー半島バトパハ附近のバセル鑛山は敵軍に殆ど破壞されたがこれは占領後直ちに石原産業が復舊に着手し現在では戰前の産出量を優に生産し得るに至つた、バセルより約十六、七マイルのところに東山鑛山がある、これも徹底的に破壞され復舊には相當の時日がかかると思はれるが、こゝには相當量のストツクが保存されてゐるので現在このストツクの積出しに努めてゐる、一方マラツカ市の近くにボーキサイトの一大鑛脈があるが、これには戰前手がつけられず占領後はわが手によつて發見現在開發に着手してゐる、鑛區は分散してゐるが、埋藏量二百五十萬トン餘と見積られ、開發如何によつて相當有望で、既に二十名餘の技師が入坑してをり十一月ごろにはどしどし採掘し得る見込みだ、さらに有望な他の開發地點としてはジョホール北部にボーキサイト鑛山があり、かつて石原産業が英國政府に採掘願を出したところ要塞地帶といふ理由のもとに却下されたものである、概算一千五百萬トンの埋藏量があるものと推定され、從つてこゝだけでも日本の需要量を約〇ケ年以上維持することが可能である、もつともこの方面はジャングル地帶の敷設地帶がまだ殘つてゐるため陸路からの輸送は頗る困難であるが、去る四月廿五日第一回の開發隊が入坑、出貸鐵道開設と地雷の除去作業を行つてゐる、今年から來年にかけてわが國アルミニユーム需要量の全部をこの鑛山から生産する豫定で準備を進めてゐる

次にビンタン島であるが、こゝは戰前オランダのビリトン鑛會社が經營してゐたもので殆ど完全にボーキサイトで埋まり、しかも品位が頗る高い、こゝも破壞されてゐるが、復舊は容易で今年中には全部再開の豫定で、近く戰前を凌駕して前記のジョホールの南岸地區のをあはせて現在のわが國必要量の〇倍に增産すべく着々準備を進めてゐる、要するにボーキサイトに關する限り將來少しの不安もない、機械その他の施設も出來るだけ現地で充たす方針であるが問題は船舶の補給關係にあるといへよう

▲鐵鑛山 ジョホール州のスリメダン鑛山は徹底的に破壞されてゐるが、同州のランカツプ、トレンガンヌ州のズングン、ケママン、ケランタン州のタマンガンなど各鑛山は殆ど破壞されず、すでにズングン、タマンガンからは出鑛、しかもストツクが相當殘つてをり、品質も五乃至六〇パーセントの優秀なものである

▲錫 ペナンの製錬所はすでに復舊し四月二十三日から操業してゐるが、昭南（プラニー）島の製錬所は主として設備が徹底的に破壞されてゐる、もちろんこれを復舊しようとすれば出來るが、ペナン、バンカ島の製錬所のみで十分でこれは當分閉鎖することに決定してゐる、錫鑛山はいづれも復舊しつゝあるが、殊にマレー最大の生産地ペラク州ではドレツヂヤーなど急速に復舊し今月末には月産約〇〇〇トンの産出が可能となり、最近華僑鑛山から適正價格で買付けることに決定し七二パーセント含有量の錫鑛に對しては一ピクル五十圓、一パーセント上下する毎に七十錢を標準に買付けることにしてゐる、これら全部が活動開始するに至つては當然過剰生産の問題が生ずべく將來生産制限の必要があらう、なほマレーおよびスマトラの錫生産に對しては今後東洋錫山、興安砂金會社の二社が一元的生産にあたることになつてゐる

赤軍の補給路遮斷

ハリコフ地區 獨軍の反撃成功

【ベルリン二十三日同盟】獨軍司令部二十三日發表＝

▲ハリコフ戰線 一、狙撃師團二〇、騎兵師團三、戰車旅團十五をもつて去る十二日から開始されたハリコフ地區に對する赤軍の大規模な攻撃は獨軍の反撃により大損害を受け失敗に歸した

一、獨軍は五月十七日から攻撃を開始し赤軍強力部隊の背後に出で補給路を遮斷した

一、獨、ルーマニヤ、ハンガリー聯合部隊は強力な空軍編隊の掩護の下にイルメンコ東南の戰線において集中攻撃を行つた、赤軍はこれに對し頑強な抵抗をつゞけたが、反撃に失敗し大損害を被つた

一、主力部隊との連絡を失つた赤軍の一分遣部隊は獨軍の包圍に陷り數日間の戰鬪のゝち殲滅された

一、五月十八日から二十一日までの期間に赤軍の失つた飛行機數は四百五十二機に達した

一、同期間に獨軍が喪失せる機數は四十五機である

▲北阿戰線 一、北阿戰線の獨軍は英軍先遣部隊を擊退、また獨空軍は英機十機を擊墜した

山東共匪殲滅

約三千に猛攻の火蓋

【山東〇〇前線二十三日同盟】去る三月下旬より行はれた山東半島陸海軍協同作戰により徹底的掃蕩を受けた共産軍山東縱隊はその後再建に汲々とし四月中旬ごろより自己勢力の挽回を企圖してその第五支隊約三千が萊陽の東方地區に集結中との報に接したわが軍は二十一日よりこれに對し殲滅戰を展開した、すなはち

一、山本部隊は二十一日未明萊陽東南十キロの地點において敵一千を捕捉攻撃これに大打撃を與へた

一、大島部隊は同日坡臣（萊陽東南方二十五キロ）において一千五百の敵と遭遇、敵は部落およびその高地に設けた數線の陣地に據り頑強に抵抗したが、わが方は陣地のいち敵を北方に潰走せしめた

ケルチ敗退自認

ソ聯情報局から發表

ストツクホルム特電【廿四日發】モスコー來電によればソ聯情報局は廿四日ケルチ半島再失陷を容認して次の如く發表した、ケルチ半島においてはドイツ軍が壓倒的優勢を獲得したのに鑑み、ソ聯軍司令部は遂に同方面のソ聯軍に對し撤退命令を發し、全軍は縱深整然撤退を保持して同半島より完全に撤退した

脚氣と榮養に
ベリベロール
高單位ビタミンB1B2複合體
優秀なる效果と顯著なる醫治作用を現すを以つて各科醫家に最も推奨せらる
藥店にあり
東京市京橋區京橋一丁目 ラヂウム製藥株式會社
BR-68

大野政務總監 きのふ清津へ

大野政務總監は日鐵清津製鐵所の第一熔鑛爐火入式參列のため天谷秘書官を帶同、廿四日午後三時五十五分京城驛發列車で清津に向つた、なほ上瀧殖産局長、鹽田企畫部長も同列車で清津に向つた

第二期建設は鋼鐵一貫を目標

豊田日鐵社長、清津着

【清津電話】清津製鐵所火入式參列のため來鮮中の日鐵社長豊田貞次郎大將は廿四日朝十一時十六分羅南着列車で來津、社員俱樂部に少憩の後、清津製鐵所を視察し午後一時から全從業員を會議室に集めて建設の勞を犒ひ、溫情溢れる訓示をなし、次いで記者團と會見、大要次の如く語つた

清津製鐵所の建設については、半島軍官民總力の絶大な御協力と御支援を賜つたことは洵に感謝に堪へない、又全從業員もよくやつてくれた、三見所長以下一致協力あらゆる艱難を克服し遂にこの喜びの日を迎へたのである、第二期建設は何しろ物動の關係もありそれと睨み合せ又政府の方針によつて決定する問題だが、清津製鐵所としては當然銑鋼一貫作業まで進まねばならぬ、これが實行は狀況さへ許せば何時でも出來るやうに日鐵としては用地その他もとつてある、要は時期の問題だ、日鐵は最早單なる日鐵ではなく大東亞の日鐵でなければならぬ、從つてその目標も日鐵を包括した大東亞全體においておかなければならぬ、こゝにおいて日鐵の使命といふものは國家の飛躍と共に大なる飛躍を遂げた譯である、日鐵の南方進出といふ問題も將來起つて來るであらうが、總て物事は歩一歩と足下を固めてかかることが肝要である、又南方製鐵資源の開發と云ふ問題も各方面で聞かれるが、これとても何等變化はない、一口にいふが却々容易な問題ではなく、大きな資本と技術を要するのだから結局重點主義で進むより外はない

なほ豊田社長は廿五日火入式後廿六日茂山鐵鑛を視察し廿七日夜行で京城に向ひ卅日京城發歸京の豫定

印度の反英態度硬化一途

【ストツクホルム廿三日同盟】ロンドンタイムス紙ニューデリー特派員は最近の印度の反英態度がガンヂーの英米印度撤退要求の主張を中心にますます硬化しつゝある旨左の如く報じてゐる

ガンヂーは最近國民會議派に對し印度防衞問題に關する彼の態度を表明、米英はアジヤより退却すべきであると主張して英當局をしてまたも多大な困惑を感ぜしめてゐるが、このガンヂーの態度表明は全印度に重大な反響を喚起してゐる、ガンヂーは英の焦土戰術に強硬に反對し印度防衞の名により印度に駐在してゐる米英軍隊は撤退すべきであると主張した、そして印度が戰爭に對し積極的態度をとるべしとの一部の主張に對しては全面的に反對してゐるが、ガンヂーは目下英勢力除去に必死の努力を傾注してをり、英國に對しアジヤの所有に歸すべきものは返却し印度人に對する行政權を放棄すべきであると勸告してゐる

南太平洋反樞軸司令官着任

【リスボン廿二日同盟】ロイター通信ウエリントン電によれば南太平洋反樞軸聯合軍司令官アメリカ海軍中將ロバート・ゴームリーは廿二日ウエリントンに到着した、同司令官管區はニユージーランド水域である

健民皆働
毎日の健康に…
ハリバ
脂溶性榮養の確保にご家庭用には五百粒入を

理學博士 湯淺明著
科學人の世界 (最新刊)
科學する人々へ! 若き科學者の胸に擴がる輝しくも美しき世界!
B6判 三二〇頁 價一・二〇 送・一二
科學者の道……科學には國境はないか……發明發見の雰圍氣……メンデルに凝結した雰圍氣……創造の力……寛大な競爭……苦しみか樂しみか……發想の的中……歴史は繰返す……明暗二題……與り者……科學の系統化……論文の長さ……ロマン・ローランの言葉……科學者の娛樂……動物哲學……明朗に……外から內へ……
湯淺博士著
細胞學 價九・八〇 送・八〇
生物學總論 價六・八〇 送・八〇
生物學新叢(一) 價一・五〇 送・一二
鈴木治・共著 生物學新叢(二) 價一・七〇 送・一二
生物學新研究の一展望 ―茗溪會推薦― 價一・二〇 送・一二
性とは何か ―生命の機構― 價一・五〇 送・一二
性の決定 價二・五〇 送・一二
清水幾太郎著 青年の世界 (價一・三〇 送・一二)
植田清次著 經驗的世界 ―經驗の哲學への序説― (價三・五〇 送・一〇)
佐藤慶二著 新時代の世界觀 (價一・〇八 送・〇八) ―增刷中―
(申込案內贈呈)
東京・小石川・水道端 振替東京一一二五番
同文館

貯蓄は銃後の彈丸なり

□布哇に、緬甸に、濠洲に、今や皇軍將兵は南北五千粁、東西一萬數千粁の陸、海、空に、破竹の進撃を續けてゐる。「兵隊さん有難う!」然し、銃後の進撃も前線に一歩も後れてはならない。

□近代戰は總力戰である。武力戰であるのみならず、經濟戰である。一億一心、勤儉貯蓄! 以て戰費の財源たる公債の消化に充てねばならない。「勤儉貯蓄」の四字を我々銃後一億が實行するか、否かが經濟戰成否の分岐點である。

□貯蓄は銀行預金あり、郵便貯金あり、公債の購入固より結構である。然し、長期に亙る、強制貯蓄の意味に於て、生命保險の加入こそは時局下の貯蓄として、極めて適當と云ふべきである。

□戰費が增大すれば貯蓄の目標も亦增大する。本年度の貯蓄目標は二百三十億圓と決定された。銃後國民は前線の兵隊さんに彈丸の心配をさせる樣な事があつては斷じてならない。一億一心、前線將士の心を以て經濟戰に邁進すべきの秋である。

第一生命保險相互會社 東京市日比谷

特輯 海軍報道班員實戰座談會

大洋の王様わが航母
氣魄で勝つ海の勇士達
鼻息ばかりの敵空軍

世界戰史上未だ曾てその類を見ない大戰果のうちに大東亞戰爭下初の海軍記念日を迎へるが、曾て日本海に飜つたZ旗の精神は今や全太平洋全印度洋を壓して隨所に再現されてをり帝國海軍に對する感謝と感激とは全國民の心魂に深く徹するところである、南方第一線各地に從軍し親しく帝國海軍の奮戰に參加した海軍報道班員中左の諸氏が一時歸來された機會を借りて實戰座談會を催しその貴重なる體驗を訊き以て全國民と共に帝國海軍の偉業をしのぶよすがとした

出席者氏名
海軍報道班員 足立和雄(朝日記者) 三宅俊夫(東日記者) 清水進(讀賣記者) 橋本貞(朝日寫眞) 小田松太郎(同盟寫眞) 吉田一(日映) 牧島貞一(日映) 海野十三(作家) 山岡莊八(作家)
大本營海軍報道部員 富永謙吾少佐

寫眞上＝大東亞戰に初活躍の落下傘部隊(陸軍省許可濟) 下＝座談會の出席者

問 足立さん、メナド攻略の海軍落下傘部隊の狀況を一つ……

足立 海軍の落下傘部隊は御承知のやうにセレベスのメナドに一月十一日、ついで二月廿日にチモールのクーパンに作戰しましたが兩作戰とも飛行場即ち航空基地占領といふのが主目的でした、私たちは二度共空から見たわけですが我々が乘つた飛行機と部隊を輸送する輸送機との距離が大變遠いので船も人も小さくて中々よくは見えません、たゞマア非常に美しいといふ感じでした

何とかしてもつと親しく見たいと思つて二度目のクーパンの時は大部近く飛んで貰つたが、矢張り我々は目の訓練を積んでゐないため中々見えない、僕と並んでゐた搭乘員は今あそこで整列してゐるとか教へてくれるんですが、僕にはどうしても見えない、これは矢張り眼の訓練がされてゐない結果だと思ひます

二回共全部平穩裡に好都合に行はれたと空から美しいところだけしか見えなかつたものですからさう思つて歸つて來たのですが後で地上へ降りて聽いてみると非常な抵抗があり大激戰を展開してゐたといふことでしたが、あんまり落下傘の美しいところばかりを見て陽氣なことを考へてゐたのが恥しくなつた譯です、最初のメナドの時は降下數分前に偵察機を出したが、その時は全然向ふは射つて來なかつた、地上砲火があるといふことを偵察機に見せるのは不利だと思つたのでせう、地上砲火があると知れればこつちは直ちに爆擊をやつて行くから……どうも、色々の點から綜合してみると敵は落下傘作戰を豫期してゐるのではないかと思はれる、メナドのカカス飛行場附近には落下傘に關するビラが澤山貼付けられてあつた、それは日本の落下傘部隊を描いた三つの繪からなるもので一番上に落下傘部隊が降りたところが描いてあつて眞中にそれを見た農民が蘭印軍に報らせてゐるところ最後に蘭印軍の機械化部隊が日本の落下傘部隊を攻擊してゐるところの繪が描いてあつた

問 物糧投下について感じたことを話してみて下さい

橋本 難しいものらしいですよ……まづ人間と人間をくつつけて降すことを考へねばならぬ、また一人々々の降下スピードを調節し早くすることも必要だし人間と物糧とをくつつけて降すこともまた同じだと思ひます

足立 落下傘を語るには地上における激戰といふよりもそれをやるまでの訓練といふことが一番強調されねばならないと思ふ、今度の落下傘部隊は僕等の想像してゐたより遙かに短い期間に編成され非常に猛烈な猛訓練を受けてゐるのです、例へば我々が最敬禮をする姿勢でも自分でやつてみたが一生懸命背中をまげても頭と膝がくつつかない、どうしても一尺程あく、それが落下傘部隊は編成されてから數週間で全員がくつついて了ふやうになつたさうです、要するに體を柔かくし、しかも戰鬪力を失はないやうにする、とにかく降りる迄に死んでは何にもならないから決して戰鬪力を失はないといふ建前で非常に猛訓練をやつてゐる、初めは非常に怖かつたといふがこれは正直な氣持らしいです、しかし實戰を經た今考へると最初の頃の恐怖なんか全く夢のやうだといつてゐる

その時の純い氣持も要するに實戰場に臨まないし訓練に死ぬといふが覺悟だといふやうな氣持なのでせう、殊に當日の朝今から敵の上空へ行くといふ時には皆非常に朗かだつた、中には飛行機の中で居眠をしてゐる者、それから軍歌を唱つたり非常に澄切つた心境だつたさうです

富永少佐 今夜は諸君が現地に臨つて壯大な海戰作戰の實際を體驗されたその生々しい話をしていたゞきたいと思ひます

問 先づビスマルク諸島、ソロモン群島方面の作戰に參加された海野さんいかゞですか

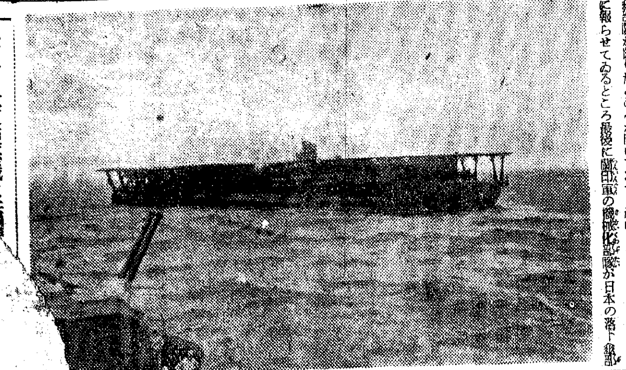
海野 初めは豪洲の空軍だけが反擊して來たが四月の初め頃からアメリカの陸軍航空部隊が約三百位出て來た、ポート・モレスビーを中繼地とし盛んに豪洲にやつて來た、私共のゐた時は恰度その新手が來たばかりで私共はこのアメリカ陸軍航空部隊の洗禮を受けたものです、彼等は中々勇敢で殆ど毎日のやうに來た、朝早く夜明けから始まつて正午頃がずつと戰鬪時間だ、攻擊は三機編隊、六機編隊でやつて來るが戰鬪は中々激しい、向ふの飛行士は太平洋の制空權を完全に握らねばといふ氣持を持つてゐるのでマーチン中型爆擊機時速三百十五哩も出るといふのが突込んで來た、そいつをこちらでは必ず邀擊戰鬪したので敵は吃驚したのでせう、私が基地を出發する直前の頃はもう空襲して來なかつた、とにかくアメリカ陸軍航空部隊の戰鬪は相當荒かつたが、今後は幾ら飛行機を持つて來てもこれまでのやうに勇敢には突込んでは來られまいといふのが現在の狀態だと思ひます

問 それから飛行機の增強振りを……

海野 敵の南方のルートが未だ保たれてゐるからアメリカから飛行機及び飛行士を豪洲へ送ることが出來る、而も豪洲は全くアメリカ軍に依存してをつて彼等が來て呉れゝば太平洋の制海權が出來るといふ風に考へてゐた、併しこちらの飛行機は敵が後から射つて來てもくるりと宙返りを打つて直ぐに有利な態勢に自れるだけの性能と訓練を持つてゐる、更にわが航空隊將校の技術、精神力がまた比較にならぬ程優秀なものです、從つてこれさは敵が如何程やつて來ようとも問題に非ず、もう豪洲の空軍部は全く意氣消沈して專らアメリカ空軍にすがるといふやうな狀態になつた

問 次は戰鬪機の話をこゝで伸んでみて下さい

海野 戰鬪機は來られない樣ですね、敵機は明方から薄暮の中に姿を現はし歸りにはポート・モレスビーに寄つて油を補給して歸るのですから、ポート・モレスビーは中繼基地として米豪軍にとつては大事な飛行場となつてゐる譯です、あれを叩きつけない限り空襲はまだ今後もあるものと覺悟せねばならないと思ひます



寫眞＝大東亞海戰に活[illegible]艦の威容(海軍省許可濟[illegible])

淡々と"勝利の報告"
床し、誇らぬ海の荒鷲

問 航空母艦に敵機が來たことはないですか

牧島 いや來たです、實に面白かつたです、向ふから哨戒機兼爆擊機PBYといふのがやつて來た、それを見付けまして戰鬪機が出掛けて行つたが、それでもまだこちらに向つてどんどんやつて來る、戰鬪機がぱんぱんと射つたら漸く氣が付いたと見えてくるりと向きを變へて逃げ出した、丁度雲が三つ位あつてその內へ頭を突込んだ、向ふではうまく隱れたと思つたらしいが雲の切れ目から尻の方が出てゐる、そこでこちらの方では雲の切れ目に待つて居つた、丁度頭隱して尻隱さずといふ譯です、それを射ち落しましてそれから驅逐艦が拾ひに行つたら九人乘つてゐる、その內三人が戰死、三人重傷、三人輕傷だつた、それで六人拾ひ上げて來たのです、それを訊問して「何でこつちに入つて來た」といつたら「敵の艦隊と豪洲艦隊とが合併して逃げて來たと聞いたので迎へにやつて來た」といふので(笑聲)隨分ぼんやりしてゐるのですね

問 小田さんペリ島の住民の海軍部隊に對する信賴といつたやうなものはどうでしたか

小田 非常に親しみを持つてをりましてね、我々が自動車で道路を走り行くとみんな自動車の內へ果物とか野菜なんかを放り込むやうなわけで[illegible]或る部隊なんか毎日果物とか野菜を買つて[illegible]出發する時なんか非常に別れを惜んでゐました、或る住民なんかすつかりこつちになついちやつて初めの內は吾々も金を取らずに金を貰つてをつたが、終ひには向うがどうしても金を取らうとしない、どうか持つて行つてくれといふ有樣でした、また出發の時は困つた者も相當のたやうな感じです

寫眞＝濠領に猛威ふるふ我海鷲の編隊(海軍省許可濟第五七一號)

富永少佐 落下傘部隊の奇襲戰法を敵は早くも豫期してあらゆる防禦の手段を講じて居つたのですね、それを考へても非常な抵抗を受けたといふことは判ると思ひますね、それからパラシュートの問題ですが曾て日本の絹がアメリカへ賣れなくなつたらどうしようといつてお先眞暗なやうに悲觀した時代があつた、所が今日になつて見ると絹といふものは日本獨特の兵器なんですね、さういふ意味も一つの天佑だと思ひます、アメリカが殘らしたばたして落下傘部隊を作らうとしてもナイロンではどうにもならないですね、戰鬪下ならいいかも知れませんが絕對に落下傘は絹でなければいかぬ、非常に面白いことだと思ひます

問 牧島さん航空母艦同乘の話をどうぞ

牧島 兎に角母艦の兵隊のはりきり方といふものは一寸太刀打ちするものなしで、太平洋と印度洋の王樣ですね、本當に傍若無人に荒し廻るのですから、しかしあれに乘つて居る人で敵艦が沈む所を見た人は一人も居ない、みんな飛行機が先へ行つてどんどん片付けてしまふので……(笑聲)敵艦が沈むのをたつた一回見たことがある、蘭印の作戰の時にどうしたのか向ふの船が迷つてこつちの艦隊の中に入つて來た、その時は飛行機なんか使はずに大砲で沈めたのですがその時見ただけで後はほとんど見たことがない、とにかくあちらに行つて居る連中は日本一の戰鬪機乘りとか爆擊の神樣とかそんな人達ばかりです、霞ケ浦陸上で少年航空兵を教育する時は航空母艦の甲板だけの大きさを白墨で地上へ畫いてそこへ降りる訓練をやるのださうです

一回毎に全部點を取つて居つて及第したものだけを採つてそれから更にまた猛訓練の內でも一番いいのが來てゐるのでせう、着艦する時や離れる時を見てゐるともう危くて危くて初めのうちははらはらするが、線を引いてある所から一寸も外れないですばりすばりとうまく降りる

牧島 夜間の作戰は私の行つた時はやらなかつた、然し夜間も平氣でやるらしいですね、それで印度洋を走りながら毎日訓練をしてゐるのですよ、一日でも休んで居ると工合が惡いらしく印度洋の眞中を走りながら訓練してゐるのですよ

問 三宅さんニューギニヤ島ラエの話をどうぞ

三宅 私はラエに行きましたが敵はアメリカの航空機等を盛んに增強してゐた、なぜこの方面に增強するかといふとこれは豪洲を保護しなければならないことには何かにつけて不利だ、日本の占領地域、所謂東亞共榮圈を攪亂するための基地は豪洲である、故に彼等が豪洲を死守する氣持は我々の想像以上です、また敵の攻擊ぶりも個々の戰鬪に於ては相當決死的なものがある、然し何をいつても戰を最後に決定するものは精神力です、珊瑚海海戰通りでも如何に敵が優勢な艦隊でもこの點でとても問題にならない

特に私は珊瑚海々戰で感激に堪へないのはサラトガを沈めたことで、サラトガをやつつけることは吾々現地にゐた者にとつては寢ても覺めても忘れられぬ目標だつた、それを果してくれたことは我々としても快に堪へません

問 清水さんの從軍された蘭印方面の空中戰のお話を……

清水 僕が一番最初に從軍したのは二月五日のスラバヤ第一回の空襲でした、その時はじめて同乘を許されて行つたのですが雲の中から敵水艦二隻が喰て逃げて行く輸送船や我が艦艇に爆擊されて半分艦を海に突込んだ巡洋艦の擱坐やその他九隻ばかりの船が右往左往して逃げ廻つてゐたが攻擊目標はタンジョンプリオクだつたので殘念ながらそいつを見逃さざるを得なかつたのでした、その日の空襲は大成功で敵の軍需施設を徹底的に爆擊したが歸りに敵戰鬪機ハギを二つ喰つた、その味はいまだに忘れることが出來ない、これは僕の航空部隊の空中戰の記錄ですが敵は歸りにも襲ひ、これは豪洲にならない、二月四日の大空襲の時は敵機六十八機を擊墜したが我方の損害は僅かに二機といふ全く大人と子供の相違といふ感じがした、どうも

問 アメリカ軍人氣質と豪洲或は英國軍人氣質との間の相違といふやうなものは

三宅 アメリカ人は鬼に角何といつても問題にならぬですね、もう少し手強いかと思つたのですが案外なつてゐない、だから如何に彼等が軍艦を造つても飛行機を揃へた所で問題にならぬ、これはウエーキで感じたことですが、彼處でも彼等は非常に機械力を賴りにしてゐた、あそこは敵前上陸をするのに非常に困難な所なんですがそこをこちらは一寸刻み、いや一糎刻みでにじり寄つて手許に迫寄つたらもう駄目です、結局アメリカ人といふものは機械力を用ふる餘地がなくなつたらもう駄目です、ウエーキ邊りでも無用に備はず六ケ月も前から防禦施設をやつてをつたが何を眞先にやつたかといふと彼等自身の生活施設、娛樂施設です、向ふの計畫では珊瑚礁に色々な穴を打込んだり、地雷を埋めたり、鐵條網を張り、高角砲とか速射砲なんかの陣地を造る筈であつたがそれが全然出來てゐなかつた、揚陸は六ケ月間積んだ儘にしてあつた

富永少佐 それについてかういふ話があります、占領直後のこと飛行機により大穴を明けられた道路を修理しなければならんので先づ二百人集めろといつた所が鐵條網の中からアメリカ人の技師長のやうな者が出て來て、この位の工事で二百人なんか絕對に要らない、五人で結構だといふ、そしてトラック五台を持つて來た……五人といふのはトラックの運轉手なんです……それがコンクリートを撒く機械なんかのくつついてゐるトラックで半日で見事その工事をやつてしまつた

問 最近戰時報道に對する認識が非常に昂まつて來て先日も報道戰士の合同慰靈祭が行はれましたが一つ皆さんの御苦心談を伺ひたいと思ひます

富永少佐 結局文藝人の方が抗戰力が強いですね

清水 私から吉田君を紹介しますが、吉田君は『新聞記者は基地に居つても記事は書けなければ話にならない』といつて必ず出かけて行きましたがその苦心は並大抵ではないと思ひます、先づ吉田さんから何か畫面に現せない苦心談を

吉田 映畫報道部隊に從軍する者としてはとにかく火を吐いて落ちて行く敵機をキャッチすることが第一の念願なんですが、空中機みたいに左に行つたり右に行つたり上に行つたり下に行つたりするとどうにも手がつけられない、足許がふらふらして立つてゐるのが精一杯なのです、やつと敵の姿を見たと思ふともう向ふの何處かに行つてゐるのです、本當にキャメラを振り廻して居るだけです、これはいかぬと思つてゐるうちにもう七十五百米に降つてしまつて高度が下つてキャメラの廻轉がどんどん落ちて行つてしまふ、それを苦にしながらもとにかく敵機を撮らなければならぬと思つてキャメラを振り廻すのですけれども中々ファインダーにキャッチ出來ない

橋本 非常に高度が高い場合酸素吸入をしなければならぬのですが少しでも動かなければならぬしゴムのホースが足らぬで酸素吸入器なんかつけてをられぬ、あれを外してゐると何といひますか普通考へられないやうな狀態になつて來るのですね、何か手足の自由を奪はれるやうな、苦しさを感じて來るのです、それから非常な高度になると溫度が下るものですからレンズ等もケースの中に入れて置いても淡い氷のやうなものが張つて拭いても拭いても取れない

三宅 私の苦心談といふのは今迄と違つて文章を上手に書くといふよりも何んとかして實感を傳へたいといふことが念願でした、ところが海軍の兵隊さんは何もいはない、例へばウエーキなど相當な激烈な戰鬪をやりながら淡々と語つてどうも實感が出て來ないし尋ねても「大したことはありません」と至極簡單に片付けてしまふ、私はアノ記事を書くのに十人からの人に當つてやつと最後に水兵さんから話を聞いてはじめて實感を得たやうな次第です、またニューギニヤで航空母艦をやつつけた時も戰友が死んだといふことばかりを氣にされて一寸も戰鬪した樣な話をしてくれない、私が從軍を通して感心したことは海軍の人が少しも誇らず必要以外のことは喋らないことだ

三宅 飛行機の戰果でも不明確なものはいはない、すべて實際より小さく報告する、そんなことは當り前のことだと思つてゐる、あれから見て海軍の教育といふものは絕對に間違ひない、何かさういふ精神教育をやるのですか、さういふ精神はどこで鍛へるのですか

富永 自分の任務遂行といふことだけですからそれは當り前のことをしたに過ぎない、それに尾鰭をつけるとか少しでも自分がよく見せたいといふやうな頭はしない、これは海軍の傳統と申しますか

清水 戰果を指揮所で聽いてゐるとほんとに感激した態度で一機擊墜して一機不確實といふ風に分隊長通りが報告してゐるが確かに三機をやつつけてゐるのに實に謙遜した氣持で何んにもいはない、從つて記事にもならないといふ譯です

富永少佐 報道班員の苦心については感謝に堪へません、どうも御苦勞でした

せき パコイン
好評絶讃の鎭咳祛痰新藥
滿鮮・臺灣・樺太 全國海外有名藥店ニ有リ
山本製藥

キング 六月號
このほか讀物滿載・五十錢(書店にあり)
大日本雄辯會講談社
レキシントン擊沈！ 殊勳の潛水艦乘組員の手記！
特別記事 海底戰記 海軍報道班員 山岡莊八
(讀切長篇の八十枚) 敵の航空母艦レキシントンを擊沈したわが潛水艦乘員が激務の間に綴つた熱血熱淚の詳報！
壯烈快絶 パレンバン奮戰記 陸軍報道班員 荒木秀三郎氏 現地報告
印度の內幕を語る 世界注視 複雜な國情を語る座談會
若き鐵獅子の精神＝陸軍少年戰車兵學校訪問記(柴田博)
我等斯く敵空襲と戰へり 體驗談發表！
出船の精神 日本海軍の輝く傳統を語る 海軍少將 日暮豐年
之からの家庭・之からの子供……阿部仁三
今貯蓄をすると大變得になる話…氏家武
大切な一兵器・石油の繪ばなし(評判口繪)
第三戰場＝今井達夫
再起奉公を誓ふ戰傷兵を中心に戰友愛、肉親愛の感激場面を描いた戲曲
スパイ秘話 要塞地圖＝甲賀三郎
時代小說 和泉守出廬＝笹本寅
明朗小說 愛情延期＝鹿島孝二
理想小說 家＝諏訪三郎
科學小說 地球の屋根＝大下宇陀兒

講談雜誌 六月号
武士道短篇集
★葉隱の慈悲(武士の情)笹本寅★
★寂阿父子(忠義不滅)小山寬二★
★出陣の富士(豪勇無双)大倉桃郎★
價四十錢 送料二錢 ★東京日本橋本町 博文館 振替東京二〇四
一億一心 團結こゝにあり
★その一・學校と米の話…打木村治
★その二・賴もしき隊員…三澤房太郎
★その三・希望の眼の色…木內キヤウ
★その四・ある漁村の淚…古谷綱武
人情感激 夢の面影…三木蒐一
氷島史話 北海の男…川端克二
明朗微笑 人情夫婦…サトウハチロー
青春詩歌 愛情の神…池田忠雄
勤王日記 黄金蟲…横溝正史
江戸美談 出世祐筆…野村無名庵
空の神経戰 竹村文祥
空襲何ぞ恐るべき わがこれの勇氣を備へあり！
參謀の淚 マレー軍司令部 ○○參謀
昭南島攻略戰記 この作戰と死鬪にあがる凱歌！
誠忠武士 春雪(しゆんせつ) 南部城(なんぶじやう)
心滿き眞の武士に正義の凱歌があがる日、南部の城に祝福の春の雪降る！
土師清二の快作

法人登記公告 [illegible] 京城地方法院

胃腸 結核 虛弱兒
某醫 オリーゼ御愛用者の服用動機を、永年に亘り調査しました結果
一、醫師の推奬によるもの
一、服用された方の推奬によるもの
一、藥店の推奬によるもの
この三ツが斷然、壓倒的に多數を占めました。本劑の優秀性を如實に物語るもので、信賴して服用願へると思ひます。
全國藥店にあり 二円・五円五〇
オリーゼ
大阪 乾卯新薬部 東京

パピリオの新しい色彩研究(上)
西洋の人体画を見ると分るが、決して、白い肌には描いてゐない。あれ等の繪の肌はみんな白人ではない。どれも淡く色をつけてゐる。白い肌は繪にならないのだ。白い肌に描くと、不思議に繪が下品になる。泰西の名畫に傳つてゐるのは、みんな小麥色式に、色づけてゐる。實に、日本人の肌の色は、最も美しい、誇りある人種の色といつてい〻。
見本四錢切手同封東京麻布本村町 伊東胡蝶園研究所
新色四種

精力增進 ビオトニラ
朝夕の一杯は疲れを癒し元氣を增す健康の源泉
製藥株式會社

南に生きる〝聖將東郷〟

【東京特電】聖將東郷元帥未だ在せし昭和六年五月廿七日第廿六回海軍記念日の朝東京麹町區五番町の元帥邸を訪れた大日本海洋少年團員を代表し六勇士を右翼に擁へ元帥の前に進み海に憧れた燃ゆるやうな父性、不動の姿勢も可愛らしく一杯元帥に祝詞を奉げる少年があつた、星霜移ちあれから十年、あゝ元帥在さずとも子供心に植ゑつけられたその芽は逞しく伸び育ちやがて念願叶つて海軍に入り海の荒鷲中尉と發進、猛訓又猛訓の若鷲の翼は昨年暮に去る十二月十日のマレー沖海戰に翼を馳せてプリンス・オブ・ウエルズ、レパルス號擊沈の一勇士となつて實を結んだのであつた、殊に中尉がその日に寄せた手紙の精神は元帥口癖の一發必中精神そのものである、海洋少年團の臨席なりとして報道資料となつて大東亞戰爭下の意義深き第卅七回海軍記念日を前にこの麗しい逸話を世に送らう、曾つては元帥から手を取つて訓へられた一海國少年が遂に元帥とても夢想もしなかつたであらう大海戰に聖業を打樹てたのだ

訓は忘れじ一發必中
元帥の前に誓つた紅顔の少年
今ぞ馬來沖に果す宿望

東郷元帥は年前海洋少年團員○○に深く感心しまれ、昭和九年正月元旦病篤しとの報に深憂を致してゐると病床の元帥は側近の者に〝今日は少年團員が來る筈だが〟と漏らされた程だつた、この手紙の主○○中尉（世田ヶ谷區世田ヶ谷町出身）が少年の日選ばれて一麹町五番町の元帥邸玄關で海軍記念日の祝詞を奉げたのは 昭和六年だつた『一發必中の精神』元帥がやさしく諭す言葉の中から一入力強く刻みつけられたのは 僕等の東郷さんを 目のあたり見た感激とそして親しく聞いたこの言葉だつた

少年は幼にして軍醫中佐の父を失ひ母一人の苦しい中に育てられたが海軍に行きたい志を抱き母も温かく志を育て府立一中から海軍兵學校に進みやがて立派な海の荒鷲中尉に昇進したのだつた 中尉は少年の日のあの感激を誇りとし母にもこのことを繰返し〱語つてゐたが 十二月十日遂にマレー沖海戰で宿望を遂げたのであつた海戰直後屆けられたこの手紙は最近母の手許へ屆けられそれ こそ天にも昇る顫へる手に手紙を握つた母は直ちに 東郷神社の神前に奉告 その足で大日本海洋少年團に驅けつけ同中尉を知る總務部長日暮豐年少將始め原道太郎大佐等をいく感激させたのだつた、母への手紙

御母上様 一ケ月餘も前のおはがきを今日頂きました、永い間御無沙汰して申し譯なく思つてゐます、さていよいよ帝國海軍の實力を發揮すべき時がきました今まで默々として一途に訓練をやつて來た有事の日に備へてゐた帝國海軍の眞の實力を信頼して頂きたいと思ひます 開戰劈頭のこの大戰果も決して偶然のことではないのです、全員必勝の信念に燃えてゐます この日は私に取つて忘れ得られぬ感激の日でした、既にニュースで御承知の通りイギリス戰艦プリンス・オブ・ウエルズ、レパルスの二艦を我々の手で擊沈し大戰果を收めたのです、海戰に參加しましたのはこの日が最初でしたが、平常の演習と同じやうな氣分で毛唐の眼の玉の青いのが見えるまで敵艦に肉薄して一發必中の魚雷を浴せてやりました然し流石に敵の防禦砲火の熾烈さは重慶爆擊等に比ぶべくもありません、敵艦の高角砲や、機銃の雨の機銃それに雨のやうにパラ〱と撃つてきた、後で考へてみると中らないのが不思議な位でしたが、數本の魚雷が命中し間もなく二艦とも相次いで沈没した時は總員萬歳を叫び喜びそして泣きました私の撃つた魚雷も確かに 手應へがあつたと信じてゐます、全く飛行機と戰艦の勝負遊びです、猛烈な攻擊精神が遂に敵を壓倒致しました、米英、何物ぞと最前線で元氣で一パイ鬪志に滿ちて戰つてゐます、母上初め皆様の御健康を祈ります ○月○日○○○、

御母上様

擊滅せずんば已まず
崇高、海軍精神の權化二美談

【昭和十七年二十日岩國海軍報道部發表】今次戰爭に示されたわが海軍將兵の國を救ふ崇高なる精神にわれ〱はたゞ頭が下るばかりである、大東亞戰下に迎へる輝しき海の記念日に際して記者は軍務から○○巡洋艦長、○○驅逐艦長とが『この話こそは是非國民に傳へて欲しい』と涙ながらに語つた海軍精神の權化、海の二美談を一億國民に贈る

【その一】壯烈奥村信號兵

開戰後間もない十二月フイリツピンのリンガエン灣敵前上陸の時である、輸送船を護送中の巡洋艦○○の艦橋で敵を見張中の信號兵奥村邦夫三等水兵（茨城縣）は敵の來襲を發見した『敵機見ゆ』の警報は直ちに飛んで全員各自の戰鬪配置についた、奥村三水は手旗を兩手に持つてしつかと立つてゐる敵機は六機、米國が誇る空の要塞ボーイングB十七型だ、信號とともに戰鬪は開始され艦上の機銃高角砲が猛然と火を吐いた、敵必殺の火蓋が切られた、敵もさるもの巧みに雲間に姿を消しては爆彈を投下する、ドシーン〱水柱が立つ、こんな時信號兵の仕事はいよ〱忙しい、赤白の手旗が激しく振られてゐる、ヒューンと唸りを生じて彈丸が艦の前に落ちて來た船はギユッと急舵をとつた、間一髪爆彈から逃れたが、ドシーンと大きな水音を立てゝ艦側○○メートルの附近に爆彈が落ちその破片が艦橋に飛んで來る『伏せ』とみんなは瞬間はつと頭を伏せたが、信號兵はなほも信號をつゞけてゐる、『奥村信號い』○○副長が叫んだが、つぎの瞬間彈片は奥村三水の左腕を肩のつけ根からもぎとつてしまつたのである、鮮血が迸り散つた『奥村がやられた』だが彼の右の手旗はなほも信號をつゞけてゐるで はないか、三回、四回、五回目には 彼はどつと倒れたのである、軍醫長が驅けつけて艦内の病室まで運ばれたが彼はなくなつた左腕を見てやゝ蒼白な顔に微笑をさへ浮べてゐる、さうして口を開けば『軍醫長配置に歸して下さい』まだ信號は終つてゐません『お前の代りを○○一水がやつてゐるから安心せよ』といつても『○○一水は傳令です』『その後をどうしますか』と應急手當さへも受けようとしない、やう〱して手當は行はれ たがその 間にも『軍醫長お願ひします』といふ出血は容易に止まず瀕死の重傷なのを知つてゐる軍醫長の眼頭は熱くなるばかりだ、死は刻々に迫る、だが奥村三水はそんなことは最初から眼中にない、たゞ敵艦擊滅の火のやうな精神があるばかりだ

應急手當を終つた軍醫長は『これでよい』と傍らの艦長に話したのを聞いた奥村三水はぐつと立ち上り『軍醫長有難うございます、配置につきます』と艦橋目ざして五、六歩き出した、看護兵達は慌てゝこれを抱き止めそこに伏せた傷の痛みがどつと出たのであらう、奥村三水は無念さうに齒をくつと喰ひ縛つてゐる、この後六時間たゞ一度も痛いと苦痛を訴へようともしない、だが豪氣な彼も多量の出血には勝てなかつた、臨終に際して『何かいひ殘すことはないか』との分隊長の言葉にも『私のことは何にもありません、敵米英を擊滅して下さい』たゞ一言最後に『天皇陛下萬歳』と『帝國海軍萬歳』を三唱して瞑目したのである、何と偉大な攻擊精神であり崇高な責任感であらう、同艦の○○少佐は故奥村三水の英魂に捧ぐと左の一首を贈つた

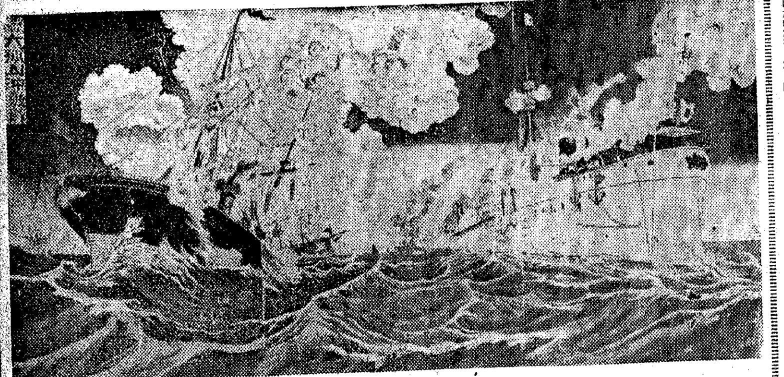
艦橋に運べといひて重傷の兵は軍醫を泣かせりと聞く

【その二】部下に讓る救命具

十二月二十四日赫々たる武勲を樹てゝボルネオ、クチン攻略の華と散つた驅逐艦○○の一勇士の話、木の破片や板切れなどをもつて泳いでゐると海面に一面に漂ふ眞黒な重油が月光にぎら〱光つてゐるのでみんな黒ん坊で見分けがつかない、『オーイ〱』と互に名乗り合つて 勵ましつゝ泳いでゐる、この時である、ブイをもつて泳いでゐる一人の機關兵曹があつた、彼は泳いでゐるうちに一人の兵が近くに泳いでゐるのを知つた『お前は誰だ』『○○一水です』そして ○○一水を見て一水の身體の工合など訊いたのち何處も負傷して ゐないのを 知るや『俺は全身火傷してゐてとても助りつこはない、このブイは大きくていゝものだからお前にやらう』と無理にブイを○○一水に預けたかと思ふと『俺の代りにしつかり頼むぞ』といつてそのまゝずぶずぶ沈んで行つた、多分彼は艦に火災が起きたとき艦橋にゐて火傷をしたものだらう

溺れるものは藁をも掴むのが人情なのだ、現に擊沈されて海上を浮游してゐる米英海軍のものどもがわが艦艇の救助の綱に蠅のやうに眞黒に縋りつき上官も部下も互に蹴落し合つてわれこそ上に上らうと 醜い 爭ひをしてゐるのに比較して重傷した自らをことさらに犠牲にし自分よりも元氣な戰友を助けて敵擊滅に向はせようとする將士はなんと偉大なる精神であらう

われ〱はどこにもハワイ海戰の特別攻擊隊の勇士、マレー沖、印度洋、珊瑚海などの敵艦擊滅の自爆勇士と同じくあくまで敵艦擊滅せずんば已まぬ海軍將兵の大精神を見るのである



（上）日清戰役大孤山沖の激戰で敵艦を擊破する戰艦隊（下）海軍發祥の地美々津港・同記念碑

戰史に見る無敵海軍魂（三）
上古に始る猛訓練
赫々たる我が海軍の戰果史

あつ といふ暇もなかつた、夜襲の準備のため母艦日光丸に軍需品積込のため接近した第六十二號水雷艇はどうしたわけか速力も落さず艇に防禦物もぶら下げず殆ど全速力のまゝ接觸しようとした、このまゝ接觸したら兩艦とも大破損だ、南無三！兩艦の乘組員は一瞬息を呑んだ、その瞬間、水雷艇の兩艦の防禦物とした一水兵がゐた、兩艦はこの水兵の身體をはさんではげしく軋り、ガリ〱と骨が碎けて兩艦はピタリと止つた、鮮血は艇を彩られ、やつと艇に這ひ上ると立派に直立不動の姿勢をとり艇長に『どこも異狀ありません』と明瞭に報告し、ばつたりその場に斃れた、水兵の名は武田又一 明治三十七年六月旅順に奮鬪するロシヤ艦隊攻擊中の出來事である

この壯烈、この崇高〝陛下の艦〟を身をもつて護つた武田水兵の犠牲的精神こそ、そのまゝ崇高な海軍精神の顯現であつた、こゝでわれ〱は三千年にわたる海軍の發達をふりかへり、滔々として流れる海軍精神を歷史の中に求めよう

我海軍史の一ページは神武天皇の御東征に始まる、日向美々津港を發せられた水軍は吉備の高島宮で三年の猛訓練を行はせ給ひ、熊野に敵前上陸を遊ばされここに大和建國の大業を成就し給うた、現在わが海軍の行つてゐる日月火水木金金の猛訓練は遠くこゝに源を發してゐる

都とお定めになつた大和國は東に伊勢灣を望み、西に大阪灣を控へ北には若狹灣を持ち〝海の民族〟が神武天皇の御詔勅に拜せられる〝八紘を掩ひて宇となす〟皇國の大理想を實現するには最も適宜な地位を占めてゐた、御東征以來日本人の海への關心はますます昂まり、遣唐船は大いに進歩し、朝鮮との交通もやうやく頻繁になつたその間數度に亘る新羅征伐により海國日本の威光は遍く大東亞を光被し、海上權は完全に日本の手に握られた

その後國内においては武士勢力の擡頭により、國内は紊亂し、それに足をとられた國民の海への關心は急激に冷却して行つた未曾有の國難、文永、弘安の兩役が起つたのは實にこの衰退以來の水軍不振の時であつた祖國の危機は皇土を外敵に汚させまいとする全國民一丸となつた忠誠と神の御加護によつて立派に打ち拂ひこれを契機に再び國民の海への民族意識を流せる海洋精神は湧き上つて行つた、この國難は又國民への深いいましめともなつたのである、復讐にもえる勇敢な武將、豪族は各自に水軍を組織し支那の沿岸を襲つた、世にいふ八幡船である、戰國時代の統一は織田信長の手によつて行はれ雄眼な彼は海上權の重要性に狙ひをいたし、大水軍の建設に取りかゝつた彼の雄圖には支那併吞の雄圖が秘められてゐる

信長が本能寺で慘死するとその志を引きついで秀吉が五十萬の大軍をもつて朝鮮海峽を押し渡つた、しかし未だ曾ての敗戰の傷痍癒えざるか、彼我の水軍は一勝一敗をくりかへし、殘念ながら我軍は敵を壓倒し得ることは出來なかつたのである、德川時代に入ると海軍發達史は暗黒時代だ、鎖國令により海外雄飛の壯大な海洋精神は踏みにじられ、我が國民は〝海〟に對して目隱しにされてしまつた、しかしこの時代にも林子平など の先覺者は〝外寇を防ぐ術は水戰にあり〟と、東郷元帥の〝國防の第一線は海上にあり〟といふ海軍原則と同樣の卓見を吐いてゐた

文化四年、ロシヤ人が北邊防備の弱點につけ込んで亂暴し、翌年にはイギリス人が長崎で暴行し、薩摩で島民を殺傷するに及んで、さすが頑迷な幕府もすでに世界の趨勢は一幕府の鎖國政策を許さぬ狀態にあることを知り、嘉永六年アメリカからペルリが來て黒船の武威を示すに及んで鎖國した德川三百年の鎖國の夢から叩き起された國民ははじめてアメリカ、ロシヤが交易を名目として日本近海に出没し侵略の魔手を伸してゐることを知つた、そして幕府の無氣力を見た國民は元寇の昔と同樣に火の玉となりこれに反撥した、海から來る外敵から皇土を護らうとする氣概は再び喚起されたのだ、建國以來の海洋精神は、黒潮に生きる大和民族の本質は、再び取り戻された

日本の近代海軍は實にこの國民の自覺により生み出されたといへる

國難を年輪として〝海國日本〟は大きく成長したのだつた、安政二年日本における最初の兵學校一長崎海軍傳習所が幕府の手によつて開設された、萬延元年、勝安房守は咸臨丸で太平洋を乘り切り、アメリカの日本修好通商條約批准交換に出陣した、アメリカ海軍の實情を研究して國防の必要を痛感し、幕府に進言して各造船所に命じ軍艦建造を急がしめた、慶應四年明治維新の大號令が發せられ明治二年版籍奉還、同年兵部省設置、同五年國民皆兵の制が發布せられるにおよんで一變した組織のもとに國軍としての海軍がはじめて建設の緒についた

畏れ多くも明治大帝は大御心を帝國海軍發達に御用ひ遊ばされ明治元年十月『海軍ハ當今第一ノ急務ナルニヨリ速ニ基礎ヲ建立スベシ』と御沙汰を下し給ひ宮廷の費を節約し給うて海軍々備擴張に下賜あらせられた

明治二十七年日清戰役は勃發し、建設途上にあつた我が海軍は、艦隊の劣勢を旺盛なる精神力をもつて補ひ、『眠れる獅子』と呼ばれ東洋の一大强國を誇つた清國の海軍を黄海に擊滅した、かくて帝國海軍は明治新海軍建設に着手してより二十七年にして早くも東洋の海軍へと大きく成長したのである

大相撲夏場所千秋樂
西軍雪辱成る
優勝の双葉揭額十枚

【東京電話】昭和十七年夏場所は初日以來連日熱戰を繰展げ二十四日双葉山對安藝海の掉尾を飾る熱戰をもつて目出度く千秋樂を告げ安藝海を總帥とする西軍は過去二連敗の雪辱の意氣に燃えて初日以來連日の土俵に戰果をあげ二百二對百六十三と三十九點のリードで雪辱を果し凱歌をあげた

双葉か安藝か最後まで迷つた優勝の榮位は双葉よく安藝の猛攻を退け堂々たる横綱の貫禄を示しここに再び賜杯は彼の手に歸した、双葉山これで優勝十枚となり大刀山、栃木山の記録を破り不出世の横綱の實蹟を見せた青葉山對出羽湊の一戰は水入り引分け取直しとなり取直しは又水入りの大相撲を演じ兩者へとへとに疲れ果てつひに引分け預りとなり千秋樂滿員の觀客を狂喜させた

日本の 點數取りいられ 優勝に輝く力士は十兩戰では十四勝一敗の駿河海で來場所の大躍進が約束される、また横綱三役を除く幕内優勝は十一勝四敗の大和錦と決定したが、双葉安藝の結びの一番終るや清水井の鮮かな弓取り式がありつゞいて優勝旗授與式に移り二敗した西の總帥安藝海に授けられた三場所目に歸る優勝旗を眺めて安藝海感無量、かくて千秋樂の行事は滯りなく終了、五穀豐穣天下泰平となり響く觸太鼓も目出度く夏場所を終つた

【寫眞＝優勝杯を手に双葉山】

夏場所星取表

東	成績	西	成績
双葉	[illegible]	安藝	[illegible]
羽黒	[illegible]	照國	[illegible]
前田	[illegible]	出羽	[illegible]
玉海	[illegible]	笠置	[illegible]
名寄	[illegible]	豐島	[illegible]
佐賀	[illegible]	肥州	[illegible]
二瀬	[illegible]	清美	[illegible]
鯱錦	[illegible]	松甲	[illegible]
若港	[illegible]	相模	[illegible]
松浦	[illegible]	綾昇	[illegible]
輝昇	[illegible]	櫻錦	[illegible]
神風	[illegible]	鹿島	[illegible]
楯甲	[illegible]	備州	[illegible]
九錦	[illegible]	九州	[illegible]
柏戸	[illegible]	八方	[illegible]
小松	[illegible]	若瀬	[illegible]
青葉	[illegible]	增位	[illegible]
旭川	[illegible]	十三	[illegible]
磐石	[illegible]	神東	[illegible]
双見	[illegible]	大和	[illegible]
若潮	[illegible]	鶴奥	[illegible]
小戸	[illegible]	成城	[illegible]
鯱里	[illegible]	武里	[illegible]
大熊	[illegible]	櫻岩	[illegible]
大森	[illegible]	藤里	[illegible]
富山	[illegible]	綾若	[illegible]
東富	[illegible]	駿河	[illegible]
龍王	[illegible]	桂川	[illegible]
雲仙	[illegible]	朝明	[illegible]
廣瀬	[illegible]	一渡	[illegible]
矢筈	[illegible]	駒里	[illegible]
鯱里	[illegible]	汐海	[illegible]
山陽	[illegible]	照海	[illegible]
常陸	[illegible]	錦谷	[illegible]
蒼葉	[illegible]	留門	[illegible]
高津	[illegible]	綾國	[illegible]
因州	[illegible]	達里	[illegible]
金湊	[illegible]	小島	[illegible]
相武	[illegible]	三根	[illegible]
和歌	[illegible]	九錦	[illegible]
大泉	[illegible]	讃川	[illegible]

千秋樂大相撲勝負

【東京電話】
宇佐山（よりきり）讃州
因州山（うつちやり）三根山
高津山（よりきり）金湊
留門（つきだし）達ノ里
蒼葉山（よりきり）和歌木山
山陽山（おしきり）綾國
汐ノ海（きめだし）大晃
錦谷（よりきり）駒ノ里
相武山（よりきり）八宮山
一渡（よりきり）小島川
常陸海（よりたふし）朝明山
鯱里錦（したてひねり）雲仙嶽
駿河海（つりだし）九州錦

【中入後】
武ノ里（よりきり）東富士
兩國（下手ひねり）照ノ海
大和錦（よりきり）廣瀬川
双見山（上手なげ）綾昇
增位山（つきだし）小戸岩
八方山（つりだし）若潮
小松山（よりきり）九州山
柏戸（つきだし）[illegible]
備州山（つきだし）富ノ山
十三錦（よりきり）九ヶ錦
楯甲（ひき落し）神東山
相模川（はたきこみ）大ノ森
鹿島洋（つりだし）松浦潟
鯱ノ里（きり返し）櫻ノ里
櫻錦（つきはなし）若港
輝昇（つきだし）清美川
鶴ケ嶺（より倒し）綾若
神風（外がけ）肥州山
若瀬川（外がけ）二瀬川
青葉山（引分け預り）出羽湊
佐賀ノ花（下手投げ）笠置山
豐島（つきだし）名寄岩
照國（より倒し）前田山
双葉山（うつちやり）安藝海

得點 西 一三 二百二
東 一〇 百六十三
打出し六時半

米當局沈默
メリーランド型擊沈

【リスボン二十二日同盟】ロイター通信ワシントン電、イタリー潜水艦バルバリゴ號によるアメリカ戰艦メリーランド型擊沈に關してはアメリカ海軍當局は一切の發表を差控へてロイター記者の質問に對してもアメリカ海軍當局は同事件に關しては何事もいふべきことはないとのみ語つた

簡單服を作りませう

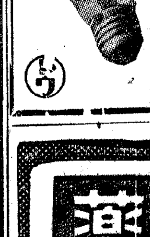
古着古服を利用して、家庭用の婦人服、子供服を作りませう 婦人倶樂部六月號に作り方と子供服の型紙がついてゐます。

無敵海軍を讃ふ 海軍記念日の夕

時＝五月二十六日（火）夜六時
所＝京城府民館大講堂
講演＝海軍武官府 德田機關中佐
映畫＝日本ニユース（最近着）我等の海軍、艦船勤務 アメリカ太平洋基地
主催 京城日報社
後援 京城府 海軍協會朝鮮本部 海軍協會京畿道支部 海軍協會京城府分會
入場無料（但し場内整理の爲金十錢申受く）

勉（ベン）強（キヤウ）に トンボ鉛筆
ツヨイ カキヨイ ケヅリヨイ エンピツ

興風館新刊 東京・神田・錦町三ノ一 振替東京一九六一三
アードルフ・ヒトラー 眞鍋良一譯
全譯 吾が闘爭【上巻】 B6判五七六頁・美裝函入 價三圓八十錢 送二〇
質的には、從來譯書（全部英米からの重譯）と異り、ドイツ原典から譯出し、重譯による誤解や誤謬を一掃した。量的には、從來譯書（全部抄譯）の實に約五倍の分量に達する。譯者はドイツ大使館嘱託官で同書研究に多年從事し、一語一句を苟もせず、「吾が闘爭」は闘爭なりと嘆ぜしめた決定的の名譯、決定版である。
ヴイキイバウム 金窪鯛郎譯 バリ島物語（巻上）
バリ島に材を採り、白人侵略史を描く一大浪漫小説。定價二・二〇 送料・二〇

廢電球と交換 キレダマ
こんど電球のお買求めは、キレダマと交換になりました。

明視 トウランプ
25. 30. 40. 60ワット

乳のよく出るくすり ラクトミン

有田音松謹製劑
肺病 ろくまく 胃腸病 中風 りん病 ばい毒
專門治療藥
全国各地の有田ドラッグ
大阪・心齋橋 東京・日本橋

病毒で苦しむ人へ 百名限り無料で親切に
私の兄弟は、毒が手酷く治り友人の五六人を見事に救つた早く效く評判の解毒藥を無料で親切に教へます
一日も早く健康體に治りたい人は早くお手紙下さい 東京市豐島區雑司ケ谷町二ノ四九八 木内牛良

高血壓に リキシン
本劑は病氣の原因となる濁り血を淨化し血管（動脈）を軟げ血行をよくするので、高い血壓も自然に下り一度下つた血壓は容易に逆戻りしない。從つて頭重、不眠のぼせ、めまひ、耳鳴り、肩凝り、便秘が治り心臓麻痺や腦溢血が予防できる。
中風も快方
リキシンを服用し乍ら適當な養生すれば舌モツレや手足シビレは勿論、半身不隨の難症も次第々々に快方する。
一円半・三円半・六円半 全國藥店に有 大阪 大仁 今津本舗

三菱モートル
ナイフ減ノ曲 附リング密封ベアリング
富 寶 車 在 町 錦 府 邸 大
佐治商會

京城府黄金町五ノ一九 師範学校西横二丁
近江産婦人科（入院隨意）信愛醫院
電東⑤六七五番

下痢に 吸着・清腸劑 エキリンジン錠
食餌中毒・食傷 急性・慢性 腸カタル
……等、總ての下痢を伴ふ腸疾患に用ひて その正確な毒素吸着作用と清腸作用により腸内の發生菌・異常醱酵素を速かに中和吸着す
大十錠・一円三十錢
田邊販賣品

初夏の健康に！ 六一〇ハップ
家庭の温泉 特許製品
頑健な体力！ 溢る、氣力！ を培ふこの一浴……
☆特効☆ 神經痛 リウマチ 婦人病 皮膚病 痔疾
☆一浴心身爽快 疲勞回復に妙☆
簡易健康法！

懸賞尋ね人
徳島市天満町四九ノ五 角 山 キ ナ
大正七年九月十二日生

一、人相 やゝ丸顔色淺黒ク 上前歯に金歯一本あり小じわ多し
一、姿形 身長 四尺五寸位 小柄なれど肉附やゝよし
一、髮型 短くして パーマネントを掛けあり 後ろ込みで網をかぶる
一、着衣 縞銘仙の上下（但し柄は上下違ふものを着す）帶綿物名古屋帶白地に小菊模樣又はグリン地に牡丹色の花柄（但し現在は着衣は各々異るやも知れず）
一、特長 顔に可成りハツキリとシワを表す
右の者五月一日午前八時頃外出したるまゝ逃走したる者に有之候就いては本人の居所御心知又は本人取押へ下され候節は家族一同謝禮として金五百圓申上候 今後貴地方へ立廻り候際はよろしく御手配の程御願申上候
京城府新町一七（よし本氣付）鈴木信平 電東⑤四三二

淋疾にコンフアミン

株式名義書換停止公告
當社定款第十六條第一項ニ基キ昭和十七年六月一日ヨリ株主總會終了ノ日迄株式名義書換ノ登錄及其ノ抹消ヲ停止仕候
昭和十七年五月二十五日
西鮮化學株式會社
清算人 後藤捨夫

ひろ喘息藥
氣管支 喘息專門 頓服で効く
ひろの主藥は三種の優秀な植物から抽出せる貴重な藥品にて一は咳を止め一は痰をとかす作用がある其上補佐藥として高級糖とカンフル劑を配合してあるので悩んだ慢性持病の人に最もよい、のみよい散藥であるから發作の時、セキの時、痰の出ない時、一包づゝ服用せられよ。
一圓、三圓、五圓
本舗 柴崎製藥所 東京市下谷區
代理店 玉置商店
全國藥店にて販賣す

決定
本籍 京城府…
李鍾鎬外科
内科・外科・一般外科・肛門科
醫學博士 李鍾鎬

金道植君新記錄樹立
徴兵制記念第二回背嚢强歩大會

半島若人が征途の感激を躍つて國民皆兵の感激と精神に鍛へる中央キリスト教青年會主催の「徴兵制記念第二回背嚢强歩大會」は京城府體振後援で廿三日午前七時十五分京城鍾路中央キリスト教青年會館前を出發、參加の百一名が新綠滴る京春街道に勇々として湧きあがる皇國の魂をたぎらせて敵陣火花散る胸と胸は引返點の金谷里へ／＼とつゞいた

かくて二二・五粁の引返點に前回の優勝者郭俊伯（忠南牙山）が先頭を切つて突入、いよ／＼復路の行程に入ればつゞくます百名の韋駄天も我負けじと、背に積んだ一貫目の砂囊とゝもに湿しい行軍の進軍はいよ／＼佳境へ、決勝點に迫るにつれて激戰はいよいよ波瀾萬丈、拔いたり拔かれたり接戰の裡に清涼里驛前で金道植君（京城合金屬組合）が先頭の郭君を一氣に拔いて其まゝ東大門、鍾路三丁目を一路突進、つひに所要時間五時間四三分五五で大會の決勝點に飛込んで大會新記錄を樹立郭君之について二位をかち得た

1金道植（京城合金屬組合）5時間43分55秒、2郭俊伯（忠南牙山）5時間49分32秒＝以上大會新記錄、3朴洪東（會社員）5時間56分44秒、4李德元（商業）6時間5分20秒、5松方康二（商業）6時間9分38秒、6郭元甲（中央基青）6時間10分32秒、7蘭村正雄（會社員）6時間23分50秒、8李龍圭（商店員）6時間27分48秒、9金文培（會社員）6時間28分56秒、10金澤相（學生）6時間34分23秒【寫眞は强歩行進中の各選手】

實業野球リーグ

鐵道雪辱 對府廳二回戰 5A—0

京城實業野球リーグ府廳對鐵道の二回戰は廿四日午後一時十分から球審土井、壘審藤井、中村三氏審判の下に京城球場で擧行、五對零で鐵道雪辱

府廳	000000000	0
鐵道	00041000A	5A0

◇府廳八島は頗る快投し得意の緩球とカーブを以て鐵道の打棒を完封したが内野の失策から四點を獻じ鐵道の縱頭打と共に折角の好試合を失ふと共に氣勢を殺がれた

【府廳】安振4失 3336
【鐵道】安振4失 5310

▲併殺鐵道（1）▲暴投中村、試合時間一時間卅五分

遞進勝つ 對京電二回戰 1A—0

京電對遞信の二回戰は午後三時廿分から球審平井、壘審土井、藤井兩氏審判の下に京城球場で擧行、一對零で遞信勝つ

京電	000000000	0
遞信	00001000A	1A0

◇終始熱戰を繰展げた二回戰はいづれに先取得點が擧げられるか高野の快調が果してそのまま押切るか興味の焦點であった

◇京電黒崎は五回一死後山口を歩かせ、江田口を三振に封じたが山口の二盜を許し黒田を曲球で攻め損じて右翼前に痛打され瀬堀商のうちに一點を先取され瀬堀井を歩かせて木原と交代した

【京電】安振4失 2355
【遞信】安振4失 6222

▲試合時間一時間四十分

早法各勝つ 六大學野球リーグ

【東京電話】東京大學春季野球リーグ戰早大對立大、法大對東大各二回戰二試合は二十四日神宮球場で擧行、觀績次の通り

▲早大對立教二回戰、開始午後一時三十分、終了午後三時二十四分、早大先攻

早大 000000013 4
立教 000000001 1　1—4

◇投捕手（立教）臉本—水利（早）場

▲法大對東大二回戰、開始午後四時十分、先攻終了五時五十七分法大先攻

法大 301000003
東大 000000000　3—7

◇投捕手（法大）柚木—福居（東大）國本—水松

實業庭球リーグ

◇第九日（廿三日）
鐵道 5—4 府廳
殖銀 5—1 本府
殖銀 2—3 遞信

二、三部戰終る 實業卓球リーグ

京城實業卓球リーグ戰は廿二日一部だけを殘して一應終了したが、二部では殖銀、三部では遞信優勝
（二部）1殖銀五勝〇敗2京電四勝一敗3電○四勝一敗4遞信二勝三敗5府廳一勝四敗6專賣○勝五敗
（三部）1殖銀四勝〇敗2京城鐵道三勝一敗3遞信二勝二敗4京電一勝三敗5本府〇勝四敗

けふの鍛錬

▲庭球　實業リーグ第十日、鐵道—遞信、本府—（東拓コート）殖銀—遞信（遞信コート）四時、四〇分開始
▲硬式庭球選手權第三日（四時半）龍山鐵道コート
▲卓球　實業リーグ最後日、本府—京城電氣（六時）武德町京城道場

米田、北島組優勝 新進中央庭球大會

京城府體振主催の新進中央庭球大會は廿四日午前九時から京城運動場で擧行、六十四組の參加で非常な熱戰のうちに京城府廳の米田、北島組が優勝

◇準々決勝
府廳（米田北島）四—〇（赤門伊田內）
府本（坂西平原）四—二（赤門原落合田）
府本（金澤武山）四—二（門赤古武賀田）
登永（稔延）四—〇（信遞華野山口）

◇準決勝
府廳（米田北島）四—〇府本（坂西平原）
府本（金澤武山）四—〇登永（稔延山安）

◇決勝
府廳（米田北島）六—五府本（金澤武山）

京城新人拳鬪選拔大會

京城府體振拳鬪聯盟主催の京城新人拳鬪選拔大會が左の要領で來る廿八、廿九、卅日の三日間（每夜七時三〇分）京城鍾路中央青年會館で開かれる

▲參加資格＝一般アマチュア（非專業技者）にして試合出場經驗なきものに限る
▲競技方法『チュニアフライ級』迄六階級とし各級共勝拔式とす
▲計量　五月二十六日午後四時より午後六時迄の間中央青年會館において行ふ（但し計量時刻に遲れたる者は棄權と看做す）
▲申込方法（イ）〆切五月二十五日（ロ）場所中央基督青年會體育館京城府體育振興會拳鬪聯盟（ハ）參加料不要

愛の赤道【103】

竹田敏彦作　都竹伸一繪

二つの影（六）

「はい、只今……」

姆の聲が答へて、間もなく、境の襖が開いた。

「御用でございませうか」

登代子と呼ばれた姆が手をついた。清介老人が、

「いやね……今も、大機さんとダバオのお話が出てゐるので、お前も手が空いたら、こちらへきて、お話を伺つたら何うだ」

「有難うございます。もう御用も大抵濟みましたから」

登代子は、すぐ、熱い茶を入れ替へて、一應、茶の間に退いたが、すぐ、戻つてきた。老人が、

「昨日の新聞の一件だが、大機さんも、心配してくださつて、今朝から陸軍省までいらしつて、調べてくださつたさうだよ」

「まあ、ほんとに、濟みませんですわ」

「いや、別に、その用だけで行つた譯ぢやありませんのです……」

二郎は、登代子にまで、そんなに言はれると少々氣が退けて、

「實は私も、あんな報道に接しますと、ひとりで東京へ歸つてゐるのが、誠に皆さんに申譯ないので、とりわけ京城でも何でも結構ですから、一日も早く、あちらへ歸つて身にかなふ働きをさせてもらひたいと思ひまして、厚生省へも出願しておきましたし、陸軍省へも請願をしてゐますので、あの記事で今朝はおつとしてゐられなくなつて、その催促をかねて情況を訊ねに行つたのですから」

「ほう、もうそんなに運動までなすつてゐらつしやるんですか」

老人は、感心していつた。

「さうでもしなければ、僕があちらへも歸れるあてがありませんから」

「なるほど、あなたのやうな御氣性ぢや、こちらにゐても、落着いてゐられませんでせうね」

「全くなんですよ」

二郎は苦笑して答へたが、心から祈るやうに、

「しかし、まあ、大したことさへなければいゝですが」

思はず洩らすと、

「新聞では、所も何も、はつきりしませんので、さつぱり様子がわかりませんのですが、やはりダバオの市中で起きたことでせうか」

初めて登代子が、氣遣はしげに訊ねた。

「ダバオと一口にいひましても、在留邦人は、ずつと市外に擴がつた廣い麻山にゐる方が多いのですから、その範圍は十里四方もあつて、私どもにも、ちよつと想像がつきかねるのです。ただ、私の聞かな經驗から考へますと、我軍の上陸地點は町の北方、まづ敵の飛行場のあるササの海岸あたりかと思ひます。さうすれば、すぐに市街戰に入ると思ひますし、一萬も二萬もの人を收容する處といへば多分ダバオの市內ぢやないかと思ふのです」

「ぢや兄さん達も、その中にゐたんでせうね」

醇くんで訊ねる登代子の顏は、益々佐智子にそつくりだつた。二郎も、それを見ると、いぢらしくなつて、

「しかし、そんなに御心配なさらなくてもいゝでせう。一萬、二萬といふ多勢の中のことですから」

こんなことでもいつて、慰めるほかはなかつた。

それから暫くして、二郎は、瑞木家を辭した。

柳の木坂の家に歸つたのは、正午を少し過ぎてからであつたが、家に歸りつくと、千鶴子の行方について、もし名古屋からでも通知がないかと思つて、何よりも先づ玄關の受信箱を開けた。

そして、中から三、四通の郵書やはがきを取り出したが、

「おや……」

一通の手紙を見て、思はず眼を瞠つた。

ラジオ　廿五日

朝　六・三〇『楠木正成と七生報國の精神』林甕三吾、朝通『明治大帝御製』吉村出城▲九・〇〇（城）『經濟常識』▲九・三〇（城）大原政助▲一〇・〇〇（城）音樂（レコード）オンガク『タノシイエンソク』東京放送管絃樂團外▲一一・〇〇國『マサオサンノ一日』青山師範附屬國民校兒童外

晝　音樂『舞神組曲』日本交響樂團▲一・〇〇（城）對談『徴兵制への感激とこれからの母の敎養』松本京子、金元順▲一・三〇（大）『大國民の養成』（一）田中寛一▲二・〇〇學校新聞の時間放送員▲二・三〇（城）朗讀海の王者（鮮語）延原放送員（城）音樂（レコード）▲四・〇〇『潛水艦長について』濱田昇一▲五・五五（城）シンブン（朝鮮語）

夜　六・〇〇シンブン（大）『明るい一家』大阪放送コドモ會▲六・三〇（城）『南方共榮圈の民族』秋葉隆▲七・三〇（城）『六原道場より歸りて』朝鮮農業報國婦人指導隊員▲八・〇〇（城）座談會『六原道場から歸りて』（鮮語）朝鮮農業報國婦人指導隊員▲八・三〇（城）初步國語講座▲九・〇〇（城）軍歌謠曲『日本海運』京城放送合唱團（城）朗讀▲一〇・〇〇西貢より

アモンパパヤ
にきび・そばかす・しみ取 パパイン酵素
藥用クリーム
應用の專賣特許で特殊藥效です
八四錢・一圓四五・一圓二一
藥用姉妹品‥パパヤ化粧水一圓八四錢
全國の有名藥店や百貨店に有
本舖 東京市四谷區 株式會社 杉田商店

商業及法人登記公告

○東洋拓殖株式會社社債（支店）第壹七五回社債總額金壹百拾五萬參千圓　各社債金額金十圓金壹萬圓利率年三分六厘償還方法及期限昭和拾八年四月壹日迄据置キ同年九月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ以後每年參月九月ノ貳回ニ抽籤ヲ爲シ每回元金壹萬貳千圓以上ヲ其額面ニテ償還ス（以下略）
昭和拾七年四月拾六日登記　大邱地方法院
昭和拾七年四月拾八日登記　大田地方法院
昭和拾七年四月貳拾日登記　京城地方法院
　平壤地方法院　海州地方法院沙里院支廳
○東洋拓殖株式會社變更（支店）
昭和拾七年四月壹日第壹百貳回社債總額ヲ金參萬六千圓ト變更ス
昭和拾七年四月拾六日登記　大田地方法院

戰果輝くや皇軍の武運長久を祈る

玉溪警防團 副團長 松本久五郎
德水種厚（舊名李種厚）
江陵邑林町 敎科書販賣所 普文堂 主 江本博彦 振替京城一二〇五 電話一七
江陵製材所 辛島辰雄
朝鮮總督府指定 賣藥賣劑商 壽生堂藥房 振替京城二〇六五 電話一四番
江原道江陵郡江陵邑錦町五十七番地 江陵物産株式會社 取締役社長 玉川明順 電話一五七番
江陵邑錦町 今村卯三郎 電話一八二番
江陵邑金谷町 土木建築請負業 松江浩正
江陵邑林町 土木建築請負業 李一雨 電話二〇九番
注文津 神農豐吉
注文津仲買人組合
木材商 伊島靖勝
木材商 清水一雄
注文津水産業 喜納榮一
玉溪金融組合
玉溪國民學校
玉溪公醫 林國俊

屠れ米英我等の敵だ　進め一億火の玉だ！

江陵邑大正町 東興蠶業社 張本高吉（舊名張基龍）
江陵邑 糧穀小賣商組合 組合長 高山一元 理事 香原長一
江陵邑玉川町 丸一貨物自動車有限會社 社長 三木茂司 電話二二七・二二七番
玉溪面職員一同 面長 朝田
江陵邑旭町 江陵合同クリーニング商會
江陵邑本町 濱州醫院 院長 北原一成 電話一八一番
江陵印刷組合 高山元伸 電話一二五番
江陵鐵道建設事務所構內 江陵請負人組合
江陵 井出龜
江陵邑林町 龜屋旅館 電話三七番
江陵邑錦町 松田正夫（舊名金）
江原道江陵邑旭町 江陵券番 電話一一番
江陵邑本町 關東煉瓦 永井伊
江陵邑本町 江陵鐵工組合 玉商店 電話取次一七九
江原道江陵邑錦町十〇 金田商會 金田光吉
公醫 富永泰正

斷食
先づ『健康』から第一だ 正體術・靜坐法・食養法・信仰
早川斷食寮 京釜線天安本山
食後胸痛に 胃の晴

安田産婦人科 醫學博士 安田實 京城府旭町二（三越東側上ル） 電話本局（2）四六五五番 入院隨意
佐藤內科 呼吸器胃腸 一般內科 X光線 京城永樂町 院長 醫學博士 佐藤八五郎 電話（院用）（2）二六八四（住宅）（2）五六八四
會計檢査、會社設立、會社解散並ニ淸算事務 新稅務及決算事務 タイプ印刷引受 京城府旭町二丁目八八番地 計理士 香川弘 電話本局六〇五番
皮膚泌尿科 性病科 京城鍾路青年會館横入 洪震求醫院
旭町一丁目一八八 衣笠産婦人科 醫學博士 衣笠茂 電本5912
わきが 野村久子
京職 人夫の御用命は弊社へ 勞務供給 株式會社 電話光化門二一七二番
牛馬犬猫診療 大猫病院 電話東⑤七三〇番
肺病全治 必ず全治せられ上 萬和堂藥局
メデカ 藥用ポマード 金鶴香水株式會社
木炭代が半分で濟ム 新興炭 御台所ノ節約 特約店募集 新興商會朝鮮營業所 京城孝悌町三〇二 電話東⑤二五八番

京日案内

古着 本町 古着卸商
雇入 美容 女事 藥劑 女子 看護 被雇 代診 家庭 雜件 賣家 荷捌 賣家 電話 交換 式場 特別案內
至急社員採用 愛國生命京城支部
學費に困る 朝日燃料商工社
女子事務員募集 藤本證券
賣邸
炊事婦入用 大瀧羅紗店
女事務員採用 廣田公司藥品部

城寶 二十五日より二十八日迄 文化映畫 勝利は我に 戰況ニュース 姿なき復讐
和信映畫館 廿一日より廿七日迄 1大東亞戰爭戰況ニュース 2朝鮮ニュース 3文化映畫 4奧の光 5太平の勝 6北支の日 7漫畫 原多
明治座 二十二日より 文化映畫 帝國海軍の唄 日本ニュース 大空の驚異
城南劇場 五月二十五日より三日間 文化映畫 最後の七人 伊賀越東軍流
東寶若草劇 廿二日ヨリ廿六日マデ 無敵海軍の歌 日本ニュース 文化映畫 孫悟空
東中央劇場 廿三日ヨリ二十七日マデ 文化映畫 南氷洋 ロッパのお父ちゃん 炎え上るバルカン
喜樂館 五月廿五日より 文化映畫 暢氣眼鏡 續清水港
日映館 京城文化劇場 廿八日開場
音花映劇 廿一日より廿七日まで 伊太利小國民 南支那 日本ニュース
朝日座 廿四日より毎夕五時開演 東西歌舞伎
東洋劇場 五月十九日より 麥畑
桃花劇場 二十五日ヨリ三日間 大白孤傳 新たなる幸福
新富座 二十五日ヨリ三日間 忍術女三代記 裁く水戸黄門
大陸劇場 二十五日より 故郷 女性の戰ひ 文化映畫 ニュース
浪花館 大東亞戰爭 ニュース からくり蝶 あわてた友情
京劇 廿二日より廿六日迄 戰況ニュース 文化映畫 花嫁の喧嘩 金毛狐